

## 新潟医療福祉大学医療情報管理学科における メディカルクラーク®資格取得支援の取り組みについて (第1報)

新潟医療福祉大学医療情報管理学科・高橋直樹

### 【背景】

メディカルクラーク®という称号は、一般財団法人 日本医療教育財団が実施する「医療事務技能審査試験」の合格者に付与される称号であり、『診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる能力を備えていることを証明するもので、現在数多くの「メディカルクラーク」が、全国の医療機関で活躍<sup>1)</sup>』している。

この試験は、およそ40年前<sup>1)</sup>から実施され、総受験者数は150万人<sup>1)</sup>、合格者は84万人以上<sup>1)</sup>といわれており、ここ数年は年間5万人<sup>1)</sup>の受験者がいる。

試験内容は、患者接遇に関する実技試験Ⅰ、医療事務知識に関する学科試験、診療報酬請求事務・診療報酬明細書点検に関する実技試験Ⅱの3科目から構成され、全ての領域において70%以上の得点率が求められる<sup>1)</sup>。

### 【方法】

医療情報管理学科の学生を対象とした医療事務技能審査試験対策状況に関して、演者らが毎月、新潟医療福祉大学に提出している「国家資格・各種資格試験対策状況報告書」の記述に基づき、外部講師が、医療情報管理学科の3年生を対象に、2013年4月から2013年7月まで実施した、医療事務技能審査試験の対策を分析し、今後の展望について考察したい。

### 【結果・考察】

#### (1) 2013年4月

4月12日から開講された「診療報酬請求事務論(3年前期; 毎週金曜日3限4限)」において、実技試験Ⅱの診療報酬請求事務・診療報酬明細書点検を中心に、医療事務技能審査試験の対策が開始された。

なお、2012年度の試験対策では、2013年1月の受験者数が10名であったため、2013年度は受験者数を大幅に増やす目的で、当該科目の成績を医療事務技能審査試験の結果に基づき評価する方針を立て、年度当初の学科別オリエンテーションと、初回講義時において、授業概要や評価方法等について十分に説明した。

#### (2) 2013年5月

毎週金曜日に2コマの対策授業が実施された。

この時期には、診療報酬請求事務論の履修者数が確定し、103名の履修登録があり、2012年度の10倍程度の受験者数が見込まれたが、2013年1月の医療事務技能審査試験の合格率(90%)を維持することが目標とされた。

#### (3) 2013年6月

毎週金曜日の2コマの対策授業に加えて補講(1コマ)が実施された。

対策授業は外部講師により実施されたが、担当講師と受講者のモチベーションは高く、順調に対策授業が進行していたものの、受講者数が100名程度いるため、科目の性質上、個別の質問対応等の時間が確保できない点が問題となった。

学生の個別対応や、模擬試験の作成・採点・フィードバックなどをおこなう人員配置の必要性が感じられた。

#### (4) 2013年7月

毎週金曜日の2コマの対策授業に加えて補講(6コマ)が実施された。

そして、7月27日に、99名の3年生が医療事務技能審査試験を初受験した。

この時期においては、模擬試験による学生の成績管理と、スローラーナーに対する個別指導の必要性が再認識された。

また、4月から7月までに対策授業を35コマ(52.5時間)実施したが、それでもまだ、医療事務技能審査試験に合格するために必要な対策としては、時間数がやや不足しているのではないかと思われた。

これらをふまえた上で、学生のスケジュール等も配慮し、限られた時間で効率よく対策授業を運営する必要がある。

### 【結論】

7月27日に実施された医療事務技能審査試験の結果が、8月27日に発表され、受験者数99名に対して、合格者数が32名であった。

7月に実施された試験では、3科目(実技Ⅰ・学科・実技Ⅱ)の全てにおいて70%以上の得点で合格とされるのに対し、3科目の平均得点が60%以上だった者が77名おり、60%以上取得しながらも不合格だった45名をボーダーライン上にあると位置づけ、今後、重点的にフォローしていくことにより、再受験後、合格は十分に見込められる。

また、7月の試験において不合格となった学生に対しては、再受験を推奨し、再受験希望者に対して十分なフォローをおこない、累積の合格者数を増加させていきたいと考える。

### 【文献】

- 1) 一般財団法人 日本医療教育財団(2013)「技能認定試験 医療事務技能審査試験(メディカルクラーク®)」  
<http://www.jme.or.jp/exam/mc/index.html>  
(2013年8月現在)

### 【謝辞】

メディカルクラーク資格取得支援の取り組みにおいては、医療情報管理学科教員のみならず、新潟医療福祉大学の教職員に加えて、外部講師である西方元邦先生と浅井則子先生から、多大なるご尽力を賜り、心から感謝の意を表したい。